

情報提供日	令和4年10月17日
担当課	みやざき文化振興課
電話	26-7099(内2258)
担当者	重黒木、池邊

令和4年度宮崎県文化賞の受賞者について

本年度の受賞者は次の2名に決定しました。

1 受賞者

※年齢は、令和4年11月8日時点

部門	氏名	年齢	所属等	居住地
文化功労	おかばやし 岡林 稔	80	宮崎大学名誉教授	宮崎市
文化功労	たなか 田中 等	73	彫刻家	高鍋町

2 授賞式日時

令和4年11月8日(火) 14:30～

(1) 授賞式：14:30～ 県庁本館講堂

- 次第
- ① 開式
 - ② 式辞 知事
 - ③ 挨拶 県教育委員会教育長
 - ④ 選考審査経過報告 県文化賞選考審査会委員長
 - ⑤ 授賞 知事、県教育委員会教育長
 - ⑥ 来賓祝辞 県議会議長
 - ⑦ 受賞者挨拶
 - ⑧ 閉式

(2) 記念撮影：15:25～(予定) 県庁講堂及び県庁正面玄関前

※雨天の場合の記念撮影は、県庁講堂等で実施

宮崎県文化賞は、昭和25年、本県の文化の向上発展に特に顕著な業績を有するものを顕彰することを目的に、県及び県教育委員会が創設しました(今年度で第73回)。

受賞者は、今回の2名を加えて、これまでで309名と3団体となりました。

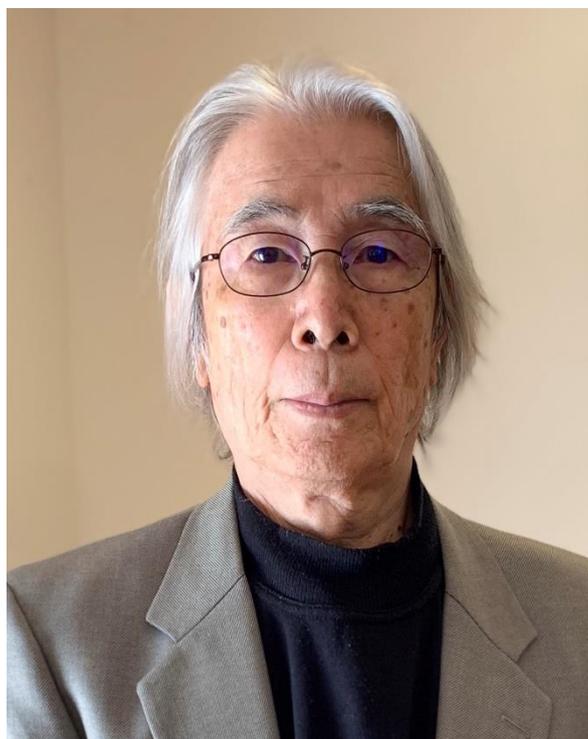
令和4年度宮崎県文化賞受賞者及び授賞理由

部 門	文化功労部門		
氏 名	おかばやし みのる 岡林 稔		
生年月日	昭和17年6月30日	年 齢	80歳
所 属 等	宮崎大学名誉教授	居 住 地	宮崎市
推 薦 者	西立野 幸一		
授賞理由	永年にわたり中村地平をはじめとした地域文学の研究・顕彰や文芸同人誌「龍舌蘭」等を通じた執筆により県内の文芸活動を牽引し、後進の育成にも尽力するなど本県文化の向上に寄与した功績 (87字)		
経 歴			
(学歴)	昭和36年 3月	土佐高等学校 卒業	
	昭和40年 3月	早稲田大学第一文学部英文学科 卒業	
	昭和42年 3月	早稲田大学大学院文学研究科修士課程 修了	
	昭和42年 3月	文学修士 (早稲田大学)	
(職歴)	昭和42年 8月	宮崎大学教育学部助手	
	平成 3年 4月	宮崎大学教育学部教授	
	平成15年 4月	宮崎大学副学長 (教育・学生担当)	
	平成20年 3月	宮崎大学 定年退職	
	平成20年 5月	宮崎大学名誉教授	
	平成21年 4月	放送大学宮崎学習センター所長	
	平成25年 3月	放送大学宮崎学習センター 定年退職	
(役員歴)	平成12年	みやざき文学賞審査委員 (～現在)	
	平成12年	九州芸術祭文学賞宮崎県地区選考委員 (～現在)	
	平成22年	宮崎県生涯学習審議会会長 (～平成30年)	
(受賞歴)	平成15年	第13回宮日出版文化賞 受賞	
	令和 4年	春の叙勲 瑞宝中綬章 (教育研究功労) 受章	

令和4年度宮崎県文化賞受賞者及び授賞理由

部 門	文化功労部門		
氏 名	<small>たなか ひとし</small> 田中 等		
生年月日	昭和24年7月15日	年 齢	73歳
所 属 等	彫刻家	居 住 地	高鍋町
推 薦 者	高鍋町長 黒木 敏之		
授賞理由	屋外彫刻の第一人者として現代彫刻を国内外へ広く発信し、県内各地の彫刻のあるまちづくりへの貢献や短歌とコラボレートした作品集の発表などにより本県文化の発展に寄与した功績 (83字)		
経 歴	(学歴) 昭和47年 3月 宮崎大学教育学部 卒業 昭和48年 3月 佐賀大学教育学部教育専攻科 修了 (職歴) 昭和53年 5月 (有)アートアマネ 入社 昭和59年12月 (有)アートアマネ 退社 昭和61年 2月 田中等彫刻工房 設立 (役員歴) 昭和51年 宮崎県美術展彫刻部門運営委員 平成 4年 日向現代彫刻展運営委員 (～平成16年) 平成11年 延岡市美術展彫刻部門審査員 平成14年 宮崎県美術展彫刻部門運営委員 (～平成20年) 平成16年 宮日総合美術展彫刻部門企画委員 (～平成31年) 平成25年 4月 高鍋町美術館協議会会長 (～現在) 平成29年 行橋市親善大使 平成29年 行橋市まちなかオブジェ・プロジェクト・アドバイザー(～現在)		
(主な受賞歴)	昭和48年 佐賀大学卒業制作展 第一回豊田勝秋賞 平成21年 “瀬戸の都・高松”石彫トリエンナーレ2009 奨励賞 平成23年 テヘラン国際彫刻シンポジウム 審査員特別賞(イラン) 平成25年 第3回“Liu Kaiqu Award”国際彫刻展 奨励賞(中国)		

令和4年度宮崎県文化賞受賞候補者



【文化功勞部門】 岡林 稔



【文化功勞部門】 田中 等